

公益社団法人 日本山岳・スポーツ
ツクリミング協会令和3年度
第6回Web理事会・議事録

日時：令和3年8月12日

14:00~16:35

場所:Web会議

出席者 丸会長、亀山、小日向、
高野各副会長、小野寺専務理事
古賀、村岡、相良、蛭田、濱田各
常務理事、水島、山口、町田、前
田、山本、六角、水村、青山、栗
田、野村、安井、小竹、笹生、原
各理事、中島、古屋各監事
欠席者 羽鎌田常務理事

1. 開 会

2. 会長挨拶の後、議題に入った。

3. 会議成立状況報告

理事数 25名中 24名出席

監事数 2名中 2名出席

(定款第33条、定足数=13名(1/2
以上))

4. 議長選出

会長が議長をつとめる(定款第
32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

ホストは小野寺専務理事が務
める

6. 議 題

議案第1号 議事録の承認に
ついて

2021年度第5回理事会議事録の
承認について(事前送付済)

◎事前にメール確認しており、
全員一致で異議なく承認された。

議案第2号 役員の担務につい

て 登山部について

古賀常務理事より資料に基づ
き提案があった。前回の議論に
基づいての再提案である。組織
の規程改定に影響する説明もあ
ったが、今回は理事の担務に係
る審議である。

◎理事担務について採決を諮り

出席者24名のうち、賛成23(議
長を除く)、反対・棄権0で提案
通り承認された。

各理事が担務を果たせる環境に
についても考慮してほしいとの意
見があった。関連の規程につい
ては、次回以降継続審議になる。

議案第3号 規程の改定につい
て

組織管理運営規程について

今回は準備の都合で割愛とな
った。

議案第4号 ゴールドウインと
の契約について

濱田常務理事から資料に基づ
いて提案があった。結論的には
ゴールドウインとの契約を続行
したい。意見として、契約書自体
は変更無くても口頭合意の部分
は何らかの形で残してほしい。

山岳スキーは別のメーカーに依
頼してほしい、比較できるから、
とのことであった。選手の細か
い要望はゴールドウインに届い
ているとの報告があっ
た。

◎以上のことを踏まえ、提案通
り異議なく承認された。

議案第5号 「役員定年制と理
事継続期間」制定委員会メンバ
ーと制定内容について

会長選出のメンバー 恒石直和
(ガバナンス委員長) 内藤順造
(JMCAに明るいう識経験者)

小山裕治(外部学識経験者、弁護
士)

委員選出は前理事会で丸会長に
一任されており、会長から選出
理由の説明があった。委員会では
なく、Project teamにしたい。
亀山副会長から補足説明があっ
た。

◎本議案について採決した結果、
出席者24名のうち、賛成23(議
長を除く)、反対・棄権0で提案
通り承認された。

議案第6号 正会員の承認につ
いて (公益社団法人)東京都山
岳連盟 入会 松本 敏氏 従
来は亀山健太郎氏(現 JMCA 副
会長)

小野寺専務理事より資料に基づ
き提案があった。

◎提案通り異議なく承認された。
議案第7号 アスリート委員会
の規程について

水村理事から提案があった。ア
スリート委員会規程によると、
現状は組織管理運営規程とは別
にアスリート委員は常任6名で、
専門委員は設置出来ないことにな
っている。その理由についての
確認があった。要望は他の委
員会と同様に常任委員は10名

にしたい。想像として、同じアスリート同志で議決権のある常任委員と議決権のない専門委員を分けることをやめたのではないかと、との意見があった。

◎水村理事から制定に関わった当時の理事に確認する事になった。

丸会長からの提案

メダル獲得者に対しては規程通り報奨金を授与したい。スポンサーへの報告、御礼も行いたい。関係各位にも御礼も追々行いたい。強化委員会から影の功労者であるスタッフ 8 名に対しても報奨金を出して頂けないか、との申し出があった。他の 2, 3 の NF に確認したら NF の財源からの前例はないとのことであった。しかしながら功労に対して何かしら報いることも考えたい。会長としての志も考えているが、理事会で決定するというのではなく、各自の意見を伺いたい。以下の意見があった。(後日メールで頂いた意見は入れておりません。)

・他の NF でも例がないのであれば、特に出すことはない。

・個人的には差し上げたい。スポーツクライミングを世の中に広めるためには大きな力になった。NF から何らかの形で謝意を表してもよい。

・いろいろと努力をした方が多い、しかし判断が難しい。

・線引きは難しい、感謝状ならよいのではないかと。トータルで関わった人々を労えればよい。

――複数。

・3 年後のパリの事も考えて行きたい。東京は行った、パリはしなかったはよくない。

・8 人の方は責務を果たされたと思う。アマチュアではなく、プロの選手を支えた。報奨金を出してもよい。

・強化委員の働きはすごかった。感謝状プラス金一封があってもよい。

・他者と比較して誰もが認める功績だったら、出してもよい。他の組織でも揉めるところはその点である。

・他の NF から組織委員会に対して「この難しい時期によく開催してくれた」との感謝状が来ている。JMSCA からは届いていない。関係者に感謝の気持ちを忘れないこと、感謝状、金銭はその後の問題である。今の話しの外枠であるが、手順を考えたい。

○ご意見は拝聴したので別途、方向性を考えることになった。

7. 報告

報告第 1 号 オリンピックの結果について

安井理事(強化コーチ、JOC ナショナルコーチ)から結果について報告があった。

報告第 2 号 7 月度月次決算について

相良常務理事から資料に基づいて報告があった。

遭対委員会印刷費に組み込まれている Safety card については、遭対委員会とは別として計上する様に配慮する。金銭の流れについてもスポ庁と協議する。

報告第 3 号 顧問候補の推薦について(口頭)

小野寺専務理事から報告があった。前回の理事会において八木原前会長と尾形前専務理事を顧問候補に推薦した。八木原前会長は引き受け、尾形前専務理事は辞退された。八木原前会長に丸会長から顧問の委嘱状を渡すことになる。

報告第 4 号 後援名義承認について

(一般社団法人)大阪府山岳連盟 チャレンジカップ、(一般財団法人)日本山岳スポーツ協会 長谷川恒男 CUP

小野寺専務理事から資料に基づいて報告があった。

報告第 5 号 世界選手権とワールドカップ派遣選手について

安井理事から資料に基づいて報告があった。常務理事会において承認されている。

報告第 6 号 SC 部各委員会常任委員について

小野寺専務理事から資料に基づいて報告があった。常務理事会において承認されている。

報告第 7 号 公認山岳コーチ
関係規程・規約および検定基準
(コーチ 1・2) 改定について
報告第 8 号 公認 SC コーチ 関
係規程・規約および検定基準(コ
ーチ 1・2) 改定について

上記 2 報告について蛭田常
務理事より資料に基づいて報告
があった。常務理事会に おいて
承認されている。

報告第 9 号 更新講習会の Web 開
催の是非について(指導主任検
定員)

蛭田常務理事より資料に基づ
いて報告があった。常務理事会
において承認されている。これ
は SC に関してであるが、アルパ
インについてはなぜ行わないか
との意見があり、別途指導委員
会で検討することになった。

報告第 10 号 公認大会、北陸電
工 第 1 回 小中学生クライミ
ング大会について

開催場所が桜ヶ池クライミン
グセンターであり、小竹理事(富
山岳連所属)から、経緯も含めて
報告があった。

報告第 11 号 今後のクライミン
グ大会予定について

村岡常務理事から資料に基づい
て報告があった。三重国体につ
いても言及があり、スタッフの
み PCR 検査を JMCSA で行うしか
ないとのこと。

報告第 12 号 山岳スキーにつ
いて

笹生理事より 2026 年冬季オリ
ンピック(ミラノ・コルティナダ
ンペッツォ)の種目になったと
の報告があった。4,5 年先であり、
選手強化については、補助金の
事もあり、プランは早めの方が
良いとの意見があった。

※丸会長からの依頼。
女性の理事候補にふさわしい方
について次回の理事会までに推
薦をお願いしたい。

報告第 13 号 役員派遣につい
て(8 月 13 日(金)~9 月 8 日
(水))

(1) インターハイ 8 月 19 日
(木)~23 日(月)

於:福井・勝山市体育館ジ
オアリーナ 丸会長、前田
理事、野村理事

(2) 国体抽選会 9 月 4 日(土)
13 時~15 時

於:JSP0 会議室(中 2) 小
野寺専務理事、西原国体委
員長

8. 会務・役員派遣 (7 月 16
日(日)~8 月 11 日(日))

(1) 全国山岳遭難対策協議
会 7 月 16 日(金)

於:文科省 丸会長、小
野寺専務理事、町田理事

(2) オリンピック開会式 7
月 23 日(金)

於: 新国立競技場 丸会
長

(3) オリンピック観戦 8 月 3
日(火)~6 日(金)

於: 青海アーバンスポー
ツパーク 丸会長、小野寺
専務理事、村岡常務理事、
他

(4) 神奈川県スポーツ課 8
月 3 日(火) 14~18 時

於:神奈川県庁 小野寺専
務理事

(5) 山の日記念 全国大会 8
月 10 日(火)~11 日(水)

於:大分県くじゅう連山、
丸会長、古賀常務理事

添付資料: 別紙 1, 2, 3。

以上